

## 令和3年度第4回岩手県公共事業評価専門委員会

(開催日時) 令和3年9月9日(木) 14:00~16:30

(開催場所) エスポワールいわて 3階 特別ホール

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 公共事業の再評価について<継続審議>

- ・経営体育成基盤整備事業 鳥海地区(一戸町)
- ・地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)  
一般国道282号佐比内(八幡平市)

#### (2) 公共事業の事後評価結果の報告について

- ・経営体育成基盤整備事業 白山地区(奥州市)
- ・地域連携道路整備事業(市町村道代行整備)市道北部環状線 山口(宮古市)
- ・公営住宅整備事業(公営住宅) 県営松園アパート(盛岡市)

#### (3) 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

### 3 閉 会

#### 出席委員

小笠原敏記専門委員長、泉桂子副専門委員長、石川奈緒委員、清水真弘委員、  
谷本真佑委員、武藤由子委員

#### 欠席委員

なし

### 1 開 会

**〔事務局から開会宣告〕**

**〔事務局から委員6名中6名の出席により会議が成立する旨の報告〕**

### 2 挨 拶

**○高橋政策企画課評価課長** それでは、開会に当たりまして小笠原専門委員長から御挨拶をお願いいたします。

**○小笠原専門委員長** 今回はウェブ形式で、ちょっと不慣れな点があると思いますけれども、議事としては3件です。公共事業の再評価の継続審議2つ、それから公共事業の事後評価結果の報告、3件です。あと最後、事後評価実施計画の策定になっております。活発な議論等をよろしくお願いいたします。

**○高橋政策企画課評価課長** ありがとうございます。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきたいと思います。本日の資料につきましては、資料No.1から資料No.5及び参考資料となっておりますので、お手元

の資料を御確認いただければと思います。

それから、今委員長からもありましたとおり、本日の審議内容につきましては資料の表紙の議事にございますとおり、再評価の継続審議2件、事後評価3件の報告、それから事後評価実施計画の策定についてとなっております。

それでは、議事の進行につきましては、条例の規定によりまして、小笠原専門委員長にお願いいたします。

### 3 議 事

#### (1) 公共事業の再評価について<継続審議>

##### ・ 経営体育成基盤整備事業 鳥海地区（一戸町）

○小笠原専門委員長 それでは、議事（1）、公共事業の再評価について、継続審議に入っていきたいと思います。

それでは、事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。

#### [資料No.2、資料No.3説明]

○小笠原専門委員長 ただいまの説明について質問、意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

○泉副専門委員長 9ページ目のその他効果の比較表についてですが、もう一度説明をお願いしてもよろしいでしょうか。①の文化財の調査に対する効果の表中で算定期間の初めのうちは年効果額がマイナスで、真ん中は年効果額が一定で、ピンクの算定期間終盤の部分は年効果額がプラスになっていることについて、もう一度分かりやすく教えていただけましたらと思います。

○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長 算定期間の初めの部分は、事業の中で文化財調査費を負担するので、その費用がマイナス効果として働いています。算定期間で年効果額が一定になっている期間は、埋蔵文化財の存在が想定されることから、発掘調査が完了するまで工事ができません。その埋蔵文化財の存在が想定されるところを文化財当局が調査している間、作物生産効果や、維持管理費節減効果など、本来工事を実施することで得られる効果を計上できることになっています。

文化財調査を本事業の負担で行わず、文化財調査を文化財当局が20年間かけて実施すると想定した場合、文化財調査完了後の6年間において事業費を投入して工事を実施することとなり、この場合の事業費はプラス効果として算定します。

事業で文化財調査を実施する場合の算定期間当初に計上される事業費はマイナス効果、事業で文化財調査を実施しない場合の算定期間終盤に計上する事業費はプラス効果という計算であり、それぞれ相殺されるような算定の仕方となっています。

○泉副専門委員長 では、算定期間の初めの青いところはいつ文化財調査をやるかというような、時期的な違いによって費用便益を算定しているということによろしいですか。

○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長 はい、その通りです。

○泉副専門委員長 ありがとうございます。

○小笠原専門委員長 そのほかございますでしょうか。

○谷本委員 同じく資料の9ページの国産農産物安定供給効果のところの④の効果発生割合というところなのですが、こちら完工年度に近づくとつれ、だんだん100%に向かって増えていっているというような感じなのですが、この100%に至るまでの値というのは、どのように決まるのか、教えていただければと思います。

○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長 この効果発生割合につきましては、総事業費に対する事業費の投入割合を表しています。

○谷本委員 では、事業費に比例して効果が増えていくというような考え方でよろしいでしょうか。

○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長 はい、その通りです。

○谷本委員 ありがとうございます。

○小笠原専門委員長 そのほかございますでしょうか。大丈夫そうですか。

「はい」の声

○小笠原専門委員長 そうしたら、継続して審議すべき事項は特になしということで、この事業については審議終了としてよろしいでしょうか。

「はい」の声

○小笠原専門委員長 それでは、本件についての審議はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

#### ・地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）

##### 一般国道282号 佐比内（八幡平市）

○小笠原専門委員長 続きまして、2つ目の件です。地域連携道路整備事業、ネットワーク形成型、一般国道282号、佐比内の継続審議に入ります。準備ができましたら、事務局の方から説明をよろしく願いいたします。

**〔資料No. 2、資料No. 3 説明〕**

**○小笠原専門委員長** ありがとうございます。それでは、ただいまの説明について質問、御意見等ございましたらよろしく願いいたします。

**○谷本委員** お送りいただきました 17 ページの資料の交通センサスの値ですね、これ御用意いただきまして、ありがとうございます。大型車混入率が 30%を超えるということで、この数字だけ見ても比較的物流にとって大事な道路なのだなということが分かってすごくよかったですと思いました。

あと、費用便益分析については、いろいろと県に御説明いただきまして、これは突き詰めれば冬期の便益を新たに考慮されたということが大きな要因というような解釈でよろしいでしょうか。

**○遠藤道路建設課整備担当課長** その通りでございます。

**○谷本委員** ありがとうございます。

**○小笠原専門委員長** そのほかございますでしょうか。

**○泉副専門委員長** 大変些細なことですが、資料 2 の 4 ページの第 3 回委員会での質疑の概要の①のところですが、お答えの「トンネルの抗口」の「抗」の字はこちらの漢字で大丈夫でしょうか。てへんになっているのですけれども、一般的にはつちへんのような気がしますけれども。私の勘違いだったらいいのですが。

**○遠藤道路建設課整備担当課長** 御指摘のとおり、つちへんの「坑」でした。失礼いたしました。ありがとうございます。

**○泉副専門委員長** あと続けてよろしいでしょうか、もう一つ。

**○小笠原専門委員長** お願いします。

**○泉副専門委員長** これも本当に瑣末なことなのですが、先ほど費用便益で御説明のありました 15 ページの上のスライド、青い字の見出しのあるところの 1 行下、米印のところなのですが、15 ページの上のスライドです。これなのですが、青い字の 1 行下のところ、米印があって整備延長書いてあって、整備前旅行速度 60 km/h、整備前冬期旅行速度 57 km/h、これは整備前でいいのですよね、一応確認です。整備後のような気がしますけれども、整備前の冬期旅行速度は 5%減と考えるということですのでよろしいのでしょうか。

**○遠藤道路建設課整備担当課長** 失礼しました。そのとおりです。整備後の記載間違いでございました。

○泉副専門委員長 分かりました。57 km/hは整備後の速度ということでよろしいですか。

○遠藤道路建設課整備担当課長 そうです。整備後の冬期の旅行速度です。

○泉副専門委員長 分かりました。では、そのように直しておきます。ありがとうございます。

○小笠原専門委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。  
すみません、私の方から、この交通量自体というのはいつの情報になるのでしょうか。

○遠藤道路建設課整備担当課長 事前評価時は、平成17年の調査のものです。それから、再評価時のものは平成27年センサスということになっております。

○小笠原専門委員長 そのとき交通量を測る時期等というのは、何か決まりはあるものなのですか。

○遠藤道路建設課整備担当課長 そこは私の知識がなく、即答できないところなのですが、

○小笠原専門委員長 冬期の走行時間を考慮して便益出されているところで、走行時間だけを考慮するのではなくて、できれば冬期交通量と通常時の交通量というのを本来分けて計算すべきなのかなという印象を受けたのですけれども、バス等は多分定期便なのであまり差がないのかもしれないですけれども、乗用車とか、貨物車とか、そういったものはやはり季節によって交通量が変わるといふか、天候によってかなり変わってくるのかなという気もするので、今後ですかね、検討していただけたらなと思いました。

○遠藤道路建設課整備担当課長 今現在はマニュアルにのっとりた形になっておりますので、今後の参考とさせていただきます。

○小笠原専門委員長 よろしくお願ひします。  
そのほかございますでしょうか。大丈夫そうですか。

「はい」の声

○小笠原専門委員長 それでは、特に継続して審議すべき事項はなしとなりましたので、この事業については審議終了としてよろしいでしょうか。

「はい」の声

○**小笠原専門委員長** それでは、本件についての審議はこれで終了したいと思います。説明ありがとうございました。

これで継続審議を終了しましたので、答申案の検討について事務局から説明をよろしくお願いいたします。

**〔参考資料説明〕**

○**小笠原専門委員長** ただいまの説明について、質問、意見等ございましたらよろしくお願いたします。

「なし」の声

○**小笠原専門委員長** 特になさそうなので、それでは本日審議を終了した7事業について答申案を決めていきたいと思います。

まずは、県が行った評価結果の可否についてですが、本日の審議を踏まえ、本委員会としてはいずれの事業についても県の評価結果については妥当であるとしてよろしいでしょうか。

「はい」の声

○**小笠原専門委員長** それでは、7事業全て妥当として決定したいと思います。

続きまして、附帯意見が必要かどうかについてですが、何か委員の皆様から附帯意見等がありましたらよろしくお願いたします。

審議したところ、特段附帯事項をつけるほどでもないのかなというのが私の判断なのですけれども、その判断でよろしいでしょうか。

「はい」の声

○**小笠原専門委員長** それでは、本日審議を終了した7事業については、県の評価結果を妥当とし、附帯意見を付さないこととしたいと思います。これ一旦休憩なのですか。

○**佐々木政策企画課主事** すみません、審議にもう少し時間かかるかなと見込んでいたのですけれども、この後、会場内の担当課を入れ替えを行いますので、その都合上、予定通り5分程度休憩を設けたいと思います。本委員会、予定では16時半、あと1時間半で審議終了となります。15時から審議を再開いたしますので、5分ほど休憩をお願いいたします。

〔 休憩 〕

○**佐々木政策企画課主事** お時間になりましたので、次の議事に移りたいと思います。

それでは、進行を小笠原専門委員長、よろしくお願いたします。

## (2) 公共事業の事後評価結果の報告について

### ・経営体育成基盤整備事業 白山地区（奥州市）

○小笠原専門委員長 それでは、議事（2）、公共事業の事後評価結果の報告について進めていきたいと思っております。本日は3件の報告を予定しております。

それでは、事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。

#### [資料No.4 説明]

○小笠原専門委員長 ただいまの説明について質問、意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

○武藤委員 ほ場整備事業のアンケート結果についてなのですが、もし御存じだったら教えてください。

問4の排水路の維持管理が楽になりましたかという質問で、「はい」以外の方、「いいえ」、「どちらでもない」、「わからない」という方が合わせて26%いらっしゃるのですけれども、思ったより効果を実感していらっしゃる方が多いと思ったのですが、何かその理由が分かれば教えていただきたいと思っております。

○勝部農村建設課主任 ほ場整備で整備した排水路等ののり面においては、勾配がきつかったり、のり面が長いという場所も一部あり、地元の方も高齢の方が多いため、草刈りなどの維持管理において楽になったと感じづらいのかと思われまます。

○武藤委員 では、逆に管理が大変になった部分も出てきてしまったということでしょうか。

○勝部農村建設課主任 そうだと思われまます。過去に同様の地区においてもアンケートを実施した際に同じような回答をいただいているところもあります。

○武藤委員 分かりました。ありがとうございます。

○小笠原専門委員長 そのほかございますでしょうか。

○泉副専門委員長 私から質問が2つありまして、1つ目は資料24ページの事後評価調書のページに写真で配水槽というのがありますが、配水槽ができたことでどんな効果があったのかという御説明なかったのと、少し補足していただきたいのと、構造が少し高くなっているようなところがあって、そこに配水するためのものかなと思ったのですけれども、もしお分かりでしたらお願いします。

あと2つ目は、ホールクロップサイレージのお話があったのですけれども、需要先が近隣の地域にあるのかということも少しお聞きしたいです。あまり単価の高いものでもないと思っておりますので、何十キロも運ぶということだとあまり現実的ではないのかなと思っております。

ので、もしこの辺で使われているということがありましたら教えていただければと思います。

**○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** 配水槽ですが、配水槽に貯めた水の高さで水圧を取る仕組みになっており、水頭差で圧力がかかって末端までパイプラインで水を運ぶことができるものとなっております。この場所に限らずほ場整備をやったところには多く見られる構造物です。

それから、先ほどのもう一つのホールクロープサイレージですが、近隣地区において需要は十分にありますので、遠い距離に運ぶものではないです。

**○泉副専門委員長** 補足ありがとうございました。

**○小笠原専門委員長** そのほかありましたらよろしくお願いいたします。

**○石川委員** 20 ページの最終総事業費で、用地費が当初計画はゼロだったのですが、用地費がプラスになっているのはどのような経緯があったのかということを知りたいのと、22 ページのアンケートのところで、事業が終わってからアンケートを取るまでの間に新しい農業の担い手が入ってきたのかどうかもし分かれば教えていただきたいです。

**○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** まず、用地費でございますが、ほ場整備区域の幹線排水路の整備に伴い、水路敷地の買収等をしたものが計上されています。

それから、もう一つの質問ですが、すみません、もう一度お願いします。

**○石川委員** 22 ページのアンケートのところで、この事業が完了してアンケートを取るまでの間に新しい農業の担い手が本地区に入ってきているかどうかもし分かれば教えていただきたいです。

**○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** 新たな参入ではなく、農事組合法人が設立され、まとまった組織ができたということです。

**○石川委員** では、その法人の中に新しく人が入ってきているかもしれないということですかね。

**○藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** これは、あくまで地元の人たちの集まりが法人化されたということです。

**○石川委員** 分かりました。ありがとうございます。

**○小笠原専門委員長** そのほかございますでしょうか。

○**清水委員** このアンケートで、今後の改善措置の必要性、今後の課題等のところに絡めて、先ほど武藤先生からも御質問あったように、よかったかどうか、事業はおおむね当初の目的を果たしていると思いますが、それ以外のところで、「いいえ」や「どちらでもない」の回答の中で、具体的な要望等にはどのような内容があったかというのちょっと気になります。今後別の同種の事業を行っていく上で参考にするとか、対応するしないの判断基準等あれば具体的に教えていただきたいと思います。

○**藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** 例えば、農家の方々が苦勞されている草刈りですが、草刈りのしやすいようなのり面勾配にするとか、先進地区を参考にしながら取り組んでいるところはあります。

○**清水委員** ありがとうございます。それで、先ほど排水路の維持管理のところでも草刈りの話があったと思うのですが、それ以外のアンケートのところで営農時間が短縮になったかという質問に対して、「いいえ」と答えた理由についても機械の関係だったり、設備の関係だったり、草刈りの関係だったりという、同様な理由で「いいえ」と答えた人があったということでしょうか。

○**藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** アンケートは間接的に取っていますので、「いいえ」と答えた人の理由までは全て把握しておりません。

○**清水委員** もし具体的な要望があり、伝えたいという人が自由に記載できる欄があると今後の参考になることもあるのかなと思います。

○**藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** 今後、アンケートを取る際に考慮していきたいと思います。ありがとうございます。

○**小笠原専門委員長** そのほかございますでしょうか。

1つ、私のほうからスライドの番号で言うと9番、事業の効果等の、整備効果の発現状況に記載の集積率の目標値65.6%は、どうやって定めたのでしょうか。

○**藤村農村建設課技術主幹兼農地整備担当課長** もちろんほ場整備事業をやる場合に地元で話し合っって事業化していきますので、その際に地元で話し合っって決めた数字です。

○**小笠原専門委員長** ものすごくざっくりとしているような気がするのですが、しかも地元で話し合っって、小数点以下の6%まで出すものなのですか。

○**鹿糠農村建設課主任主査** 補足的に説明させていただきますと、目標値の策定に当たっては、今後、法人をつくり、一筆ごとにここの農地はその法人が耕作していくというような具体的な計画を作っておりますので、一筆ごとの積み上げが65.6%という目標値になっ

ております。

**○小笠原専門委員長** なるほど、地元で話し合っ、ある程度計画を立てて、集積できるだろうというところを出していった値と。

**○鹿糠農村建設課主任主査** はい、そのとおりです。

**○小笠原専門委員長** 目標値を大きく超えたということは、これは地元の努力なのでしょうか。

**○鹿糠農村建設課主任主査** これは結果論ではありますが、事業開始当時は、自分でやるという意識の方もいらっしたのですが、高齢化が進み、事業後に法人にお願いする方が増えたことから、事業開始当時の目標よりも集積が進んだというようなことが考えられます。

**○小笠原専門委員長** なるほど。別に否定するわけではないですけども、この事業と農地の集積効果というのを1対1で評価できるものなのかというのがなかなか難しいのかなと思ったんですけども、こういった評価はごくごく当たり前に行われることなのですか。

**○鹿糠農村建設課主任主査** 目標値に対して現在どうなっているかという調査は継続的に行っておりまして、他地区も同様に事業開始当時の目標を超えている傾向です。最近、事業採択された地区については、ある程度集積が進むということが想定されますので、目標値もかなり高く設定しております。現在、採択されている地区は80%以上集積するという目標としています。

**○小笠原専門委員長** はい、分かりました。私の中でもなかなか整理できないんですけども、ありがとうございました。

そのほか何か意見等、質問等ありましたらよろしく願いいたします。

「なし」の声

**○小笠原専門委員長** よろしいでしょうか、大体出たのですかね。

特に継続して審議することはなさそうなので、それでは本件については、これで審議を終了したいと思います。ありがとうございました。

事務局の方からほかに何か確認事項等ございますでしょうか。

**○佐々木政策企画課主事** ございません。

・地域連携道路整備事業（市町村道代行整備）市道北部環状線 山口（宮古市）

○小笠原専門委員長 そうでしたら、地域連携道路整備事業、ネットワーク形成型、市道北部環状線、山口について、事務局の方から説明をいたします。

〔資料No. 4 説明〕

○小笠原専門委員長 ありがとうございます。ただいまの説明について、意見、質問等がございましたらよろしくお願いたします。

○谷本委員 資料の 49 ページ、スライド番号で言いますと 9 ページと 10 ページのところの想定していた道路ネットワークの件でお伺いします。この図の三陸沿岸道路に相当する緑の線の点線部なのですが、このときは点線部が整備されたものとして交通量推計を行ったという解釈でよろしかったでしょうか。

○藤島道路環境課維持担当課長 はい、その通りです。

○谷本委員 では、これが点線部も含めて整備された状況で、この北部環状線を推計した結果、交通量は 3,300 台であるということですね。

○藤島道路環境課維持担当課長 はい。

○谷本委員 次のスライド 10 ページにあるネットワークでの北部環状線の計画交通量は 6,855 台ということですね。

○藤島道路環境課維持担当課長 はい、そうです。

○谷本委員 分かりました。であれば、交通量推計、何となくこんなものかなというのが納得いきました。ありがとうございます。

あともう一点、お伺いしたいのですけれども、アンケートの調査対象者の沿線住民ですが、具体的にどのあたりのエリアまで調査対象にされたか、もし把握されていれば教えてください。

○白岩道路環境課主査 アンケートは、おおむね市街地の西側の方を中心に実施しました。

○谷本委員 ありがとうございます。交通量推計を行った場合、北部環状線の利用者が、どこから来た車がどこに向かうかということもある程度分かることもあります。もし、また同じようなことがあったら、起終点も分かる内容を加えたアンケートを実施すれば良いと思います。

○白岩道路環境課主査 ありがとうございます。今後の参考にしたいと思います。

○**小笠原専門委員長** そのほかに質問等ございましたらよろしくお願いたします。

そうしたら、私のほうから資料で言うと 56 ページ、利用者等の意見で改善意見箇所、視認性、これらは今後何か対応を取られる予定なのでしょうか。

○**藤島道路環境課維持担当課長** 交差点のところに既にカーブミラーは設置していますので、今後の状況を見ながら、さらに改善が必要があれば何らかの方法を考えていきたいと思っています。

○**小笠原専門委員長** 一応アンケートを踏まえて対応しているというところですね。分かりました。ありがとうございました。

そのほかありますでしょうか。

○**清水委員** 素朴な質問ですが、カーブミラーがあり、今後必要があれば信号機を設置するとなると、判断するタイミングというのは、具体的に何かがあったときというようなことなのでしょうか。

○**藤島道路環境課維持担当課長** 難しいところではあるのですが、信号機の設置となると公安委員会の整備になり、そちらとの協議も必要となってきます。今後の交通量や事故の状況などを見ながら、地元住民やドライバーの要望を踏まえて、信号だけでなくほかの対策も含めて検討することになってくると思います。

○**清水委員** 地域とのバランスを見ながら計画の上に今後入ってくる可能性があるということでもよろしいでしょうか。

○**藤島道路環境課維持担当課長** はい、その通りです。

○**小笠原専門委員長** そのほかございますでしょうか。

「なし」の声

○**小笠原専門委員長** 大丈夫そうですね。

それでは、本件について特にこれ以上はないので、これで審議を終了したいと思います。事務局の方から何か確認事項等ございますでしょうか。

○**佐々木政策企画課主事** 大丈夫です。ありがとうございました。

・ **公営住宅整備事業（公営住宅） 県営松園アパート（盛岡市）**

○**小笠原専門委員長** それでは、公営住宅建設事業、県営松園アパートについて、事務局

の方から説明をよろしく願いいたします。

**〔資料№.4 説明〕**

**○小笠原専門委員長** ありがとうございます。ただいまの説明について質問、御意見等ございましたらよろしく願いいたします。

**○泉副専門委員長** ただいまの 65 ページの写真のところで質問がありますが、こちらの階段室というのはどんな改修をされたのでしょうか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** 階段室につきましては、共用部分ですので、傷んできておりますので、壁の塗装の塗り替えだとか、床面の塗り替え、滑らないようにとか、例えば階段の出っ張ったところが欠けていたりとかしますので、その辺の改修を行っております。

**○泉副専門委員長** ありがとうございます。写真だけだと分からなかったので、助かりました。

**○小笠原専門委員長** そのほかにございますでしょうか。

**○石川委員** 高齢者仕様整備のことでお伺いしたいのですけれども、写真だとよく分からないので、教えていただきたいのですが、例えば台所とその隣のお部屋の間をバリアフリーにしているとか、そういうところが高齢者仕様になっていると考えてよろしいのですか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** 今回工事写真がいいものがなかったのですけれども、ちょうど台所の写真なのですが、左側のふすまが閉じております。ここ開けますと、実は隣は和室、畳になっておりまして、少し段差があったのです。本当に 2センチとかそんなものなのですけれども、それはフローリングにしまして、段差を解消したというものでございます。

**○石川委員** 分かりました。あと、最近だとトイレとか、お風呂とかにも手すりをつけるようなことが高齢者の居住施設ではされていると思うのですけれども、そういうところにも手すりがあったりというのはあるのでしょうか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** これも写真分かりにくいのですけれども、右側の風呂の写真の扉を開けて、風呂のカバーをまくっているのですが、その左側の上に手すりがあります。

**○石川委員** そうなのですね。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** ええ、あとトイレも手すりをつけております。そち

らのほうも対処しております。

**○石川委員** そうですね、今度似たような事例があったときには、やっぱり見やすい写真を撮っていただいたほうが、せっかく取り付けていただいているので。分かりました。ありがとうございます。

**○小笠原専門委員長** そのほかございますでしょうか。  
すみません、私のほうから。ちなみに、改修後と改修前で家賃は変化しているのですか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** 多少変わっております。担当が管理の方になってしまうのですが、改修しますとやはり管理期間が少し伸びるということで、その辺も計算して家賃算定行っています。

**○小笠原専門委員長** では、少し高くなっているような感じですか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** ええ、多少高くなっております。

**○小笠原専門委員長** それでも前に入居していた方たちも普通に入居されているというような状況でしょうか。

**○大星建築住宅課住宅計画担当課長** そうですね、事前に説明しておまして、その辺は入居者の方々が戻りたいのかどうかというのも事前にやっておりますので、それで戻ってきてくれる方は、そのように入居しております。

**○小笠原専門委員長** なるほど。ありがとうございました。  
そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

「なし」の声

**○小笠原専門委員長** それでは、本件について、これで審議を終了したいと思います。ありがとうございます。

事務局から何か確認事項等ございますでしょうか。

**○佐々木政策企画課主事** 大丈夫です。御審議ありがとうございました。

### (3) 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

**○小笠原専門委員長** それでは、3つ目の議事に移りたいと思います。公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について、事務局の方から説明をお願いいたします。

**〔資料No.5 説明〕**

**○小笠原専門委員長** ありがとうございます。ただいまの説明について、意見、質問等ありましたらよろしく願いいたします。

今の説明というのは、令和6年度の事後評価の案件ということでよろしいのでしょうか。

**○佐々木政策企画課主事** そうですね、令和4年度と令和5年度も見直しを行うのですが、昨年度の御審議のとおりですので、そこは問題ないかなと思いますので、今回新たに選定した令和6年度分の事業について御意見を伺っております。

**○小笠原専門委員長** 分かりました。

お願いします。

**○泉副専門委員長** 69ページを見ますと、令和5年度も一戸の畑地帯総合整備事業というのがあるのですが、この5年度のものとは6年度のものとの違いというのはどんなところにあるのでしょうか。

**○廣田政策企画課主任** 事業地区が異なるということで選定していました。71ページの資料になるのですが、そちらのほうで今回の畑地帯総合整備事業を第1候補として挙げさせていただいているのですが、選定の基準上、再評価を行っている事業を優先的に対象として選定するという基準に基づいておりますので、今回選定候補に挙がっている3地区のうち再評価を行っている事業がこの畑地帯総合整備事業ということになっておりました。

**○泉副専門委員長** 基準の話は68ページにもあるので、基準ということはよく分かるのですが、資料69ページを見ると備考欄も結構似たようなことが書いてありまして、作物とか、営農形態とかというのは、何かこの2つの事業で大きな違いがあるのであれば選定する意図も分かるのですが、何かこっちはこうで、こっちは違うのですよみたいな、今お分かりになる範囲で情報があれば教えていただきたいのですが。

**○廣田政策企画課主任** 令和5年度の事業につきましては排水路だったりとか農道整備を行っている事業ですので、事業費や整備面積もかなり大きな事業です。令和6年度に行う事業につきましては排水路等の整備は行っておりませんし、少し規模も小さめの事業になります。

**○泉副専門委員長** まだ令和6年度ですから、絶対これをやるということではなくて、将来的にちょっと似ているのではないかということになれば違うのに変えることもできるという理解でよろしいのですか。

**○廣田政策企画課主任** 今後見直しを行うということでは、来年度以降です。今年度決めていただいた上で、見直しを行うということも考えられますし、現時点でほかの候補の方

が適切だということであれば、そういった御意見を踏まえて計画の方は考えさせていただきたいなと思います。

**○泉副専門委員長** これだけだと情報が不足していて、何とも判断つきかねるなというのが正直な今の印象でありますけれども、事業名と地域が一緒なので気になりました。

**○小笠原専門委員長** ありがとうございます。今の意見を踏まえて、再評価時が平成27年、2つとも同じときにやっているの、令和5年度の1つだけでもいいのかなという気もするのですけれども、どうでしょうか。

**○廣田政策企画課主任** 今あくまで基準に基づいて機械的に、提示させていただいているものです。今お話しいただいたとおり、令和6年度の候補地区の畑地帯総合整備事業が令和5年度と同じような事業ということであれば、候補地区の中から、例えば、経営体育成基盤整備事業の方をするべきではないかという御意見賜れば、その意見を踏まえた上で再度調整する形、又は現時点で令和6年度の畑地帯総合整備事業ということを決めていただいた上で、来年度以降の見直しの中で修正するという事も可能ではございます。

**○小笠原専門委員長** 資料71ページで候補地区の一覧表の中に、二重丸と丸があるのですけれども、それは第1候補、第2候補みたいなイメージでしょうか。

**○廣田政策企画課主任** おっしゃるとおりです。

**○小笠原専門委員長** なるほど。そうしたら、第2候補の方は総事業費が額としてはかなり大きいので、あと最初の第1候補が令和5年度で行っているの、第2候補でもいいのかなという気がしますけれども、ほかの委員の皆様どうでしょうか。なかなか判断難しいと思うのですけれども、これどうしたらいいですか。

**○廣田政策企画課主任** 今の御意見を賜った上で、事務局の方でさらに農林水産部とも調整させていただいた上で、決めさせていただくということによろしいでしょうか。今第2候補の方が適切ではないかという御意見頂戴しましたので、それに基づいてまた事務局の方で検討させていただくということによろしいでしょうか。

**○小笠原専門委員長** はい、その方向で進めてもらえたらいいのかなというふうに思います。

お願いします。

**○清水委員** 68ページで選定方針で優先順位が再評価、事前評価とあるのですけれども、この事前評価よりも再評価が優先になっている理由というのをお聞きしたかったなど。

**○廣田政策企画課主任** 事前評価の方は全ての事業を基本的に行っているのですけれど

も、再評価の方は10年間で事業が完了していないものですか、社会経済情勢の大きな変化があった事業で、もともと行う予定だったものからかなり時間が経過している事業ですかを再び委員会にお諮りして、諮問であったりとか、答申を審議していただいている事業ですので、そういった事業がどのように行われたかをさらに事後的に評価するという趣旨で再評価が優先的になっております。

**○清水委員** ありがとうございます。要は、何らかの状況変化があって、検討が過去に多くなされたものについて、また改めて、それも再評価がなければ、どちらかというところスムーズに終わった事業だったと判断して、再評価があった方を念のためもう一度見るというような考え方もあるということですよ。

**○廣田政策企画課主任** はい、そのとおりでございます。

**○清水委員** ありがとうございます。

**○小笠原専門委員長** そのほかいかがでしょうか、何か意見ありますでしょうか、大丈夫ですか。

「なし」の声

**○小笠原専門委員長** そうしたら、事務局の方でもう一度委員の意見を踏まえて、案を提案していただきたいという形でよろしいでしょうか。

**○廣田政策企画課主任** 案を提示させていただくというよりは、今伺った御意見をいただいた上で、委員会の場というよりは、事後的に実施計画をお示しさせていただくという形でよろしいでしょうか。

**○小笠原専門委員長** はい、多分今の意見踏まえて作成してもらって、見直しが必要なら、また見直すということが可能ならばそれでお願いいたします。

**○廣田政策企画課主任** はい、承知しました。

**○小笠原専門委員長** そうしたら、事務局でほかに何か確認事項等ございますでしょうか。

**○廣田政策企画課主任** 特にございません。

**○小笠原専門委員長** それでは、これで議事を終了したいと思いますので、進行を事務局の方にお返しいたします。

**○高橋政策企画課評価課長** ウェブ開催で慣れないところでしたが、長時間の御審議いただきまして、ありがとうございました。

### **3 閉 会**

**○高橋政策企画課評価課長** 本日の審議によりまして、継続審議はなしということになりましたので、次回の専門委員会につきましては、今後審議事項が新たに出てこない場合におきましては、来年の2月に開催を予定してございますので、よろしく願いいたします。

以上で委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。